

令和8年9月吉日

保護者 様

長崎市立西泊中学校
校長 松本 結花

学力調査の結果について

秋晴の候、保護者の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。日頃より、本校の教育活動に対しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、1学期に行われました学力調査の結果と今後の改善策について報告いたします。教職員一同、今後も生徒たちの学力向上に取り組んでまいります。

1 学力調査について

実施日

令和8年4月23日（木）
令和8年5月8日（金）

調査内容

全国学力調査	対象：3年生	教科：国・数・英（3技能）・生徒質問紙
県学力調査	対象：2年生	教科：国・数
市学力調査	対象：1年生	教科：国・数

2 学力調査の結果について

【全国学力学習状況調査（3年）】

国語

全国平均を上回っている項目

○話すこと・聞くこと

○書くこと

全国平均よりも下回っている項目

●知識・技能

●読むこと

項目	西泊中	全国
知識・技能	62	60
話すこと・聞くこと	65	62
書くこと	68	65
読むこと	60	58

特に全国平均に比べ正答率が低かった問題

「語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉える」問題や「文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを書く」問題の正答率が低く、無解答率も高かった。出題趣旨をつかめずに、解答をしていることが課題である。

<改善策>

- ・漢字ノート・ワークやAIドリルを活用しながら、漢字や文法の基礎的な学習に粘り強く取り組ませる
- ・文法単元を独立した講義形式で終わらせず、読解や表現の言語活動と一体化させて指導していく。
- ・日頃から語彙を豊かにするために授業の中で読む活動に重点を置いた指導を行う。

数学

全国平均を上回っている項目	<table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>西泊中</th><th>全国</th></tr></thead><tbody><tr><td>数と式</td><td>68</td><td>66</td></tr><tr><td>図形</td><td>52</td><td>48</td></tr><tr><td>関数</td><td>58</td><td>55</td></tr><tr><td>データの活用</td><td>58</td><td>55</td></tr></tbody></table>	項目	西泊中	全国	数と式	68	66	図形	52	48	関数	58	55	データの活用	58	55
項目		西泊中	全国													
数と式		68	66													
図形		52	48													
関数	58	55														
データの活用	58	55														
○数と式																
○図形																
○関数																
○データの活用																
全国平均よりも下回っている項目																
なし																

特に全国平均に比べ正答率が低かった問題

「事柄が成り立つ理由を文字を使って説明するための方針を立てることができるかどうかをみる問題」「具体的な事象において、考察の対象となる角を的確に捉えることができるかどうかをみる問題」において正答率が低く、無解答率も高い結果となった。説明、証明問題を解くにあたって見通しを立てること、作図の意味の理解、図を見て角どうしの関係を判断することに課題が見られた。

<改善策>

- ・ペア学習、グループ学習を通して、比較・検討する活動を取り入れ、多様な表現方法に触れさせる。
- ・説明問題に対して、「①文字で表す→②関係を式で表す→③理由を文章で説明する」という手順を繰り返し指導する。
- ・「分かっている角」「求めたい角」「その根拠となる角」を関連付けて説明する活動を充実させる。
- ・無解答率の改善に向け、部分的な記述でもよいことを指導し、まずは考えを書き始める習慣を身に付けさせる。角の関係を書き込むなど途中段階の思考が見えるような表現方法を指導する。

英語（3技能）

県平均を上回っている項目 なし 県平均よりも下回っている項目 ●聞くこと ●読むこと ●書くこと	<table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>西泊中</th><th>全国</th></tr></thead><tbody><tr><td>聞く</td><td>52</td><td>55</td></tr><tr><td>読む</td><td>52</td><td>55</td></tr><tr><td>書く</td><td>38</td><td>42</td></tr></tbody></table>	項目	西泊中	全国	聞く	52	55	読む	52	55	書く	38	42
項目	西泊中	全国											
聞く	52	55											
読む	52	55											
書く	38	42											
特に県平均に比べ正答率が低かった問題 「与えられた情報に基づいて英文を書く問題」や「学校生活で行うこと、学校行事で行いたいことなど自分の考えとその理由、説明を書く問題」の正解率が低かった。書く問題は時間不足のためか、無解答も多かった。													
<改善策> ・日頃から、ペア活動などで自分の考えを既習の簡単な英語で表現できるよう練習していく。そして自分の考えを整理、表現する意識を持たせる。 ・表現の問題は、具体的な状況を想定し、「誰に何のために」伝えるのかを意識しながら話し、それを相手に伝わるように、文章で書く練習に取り組む。													

【長崎県学力調査（２年）】

国語

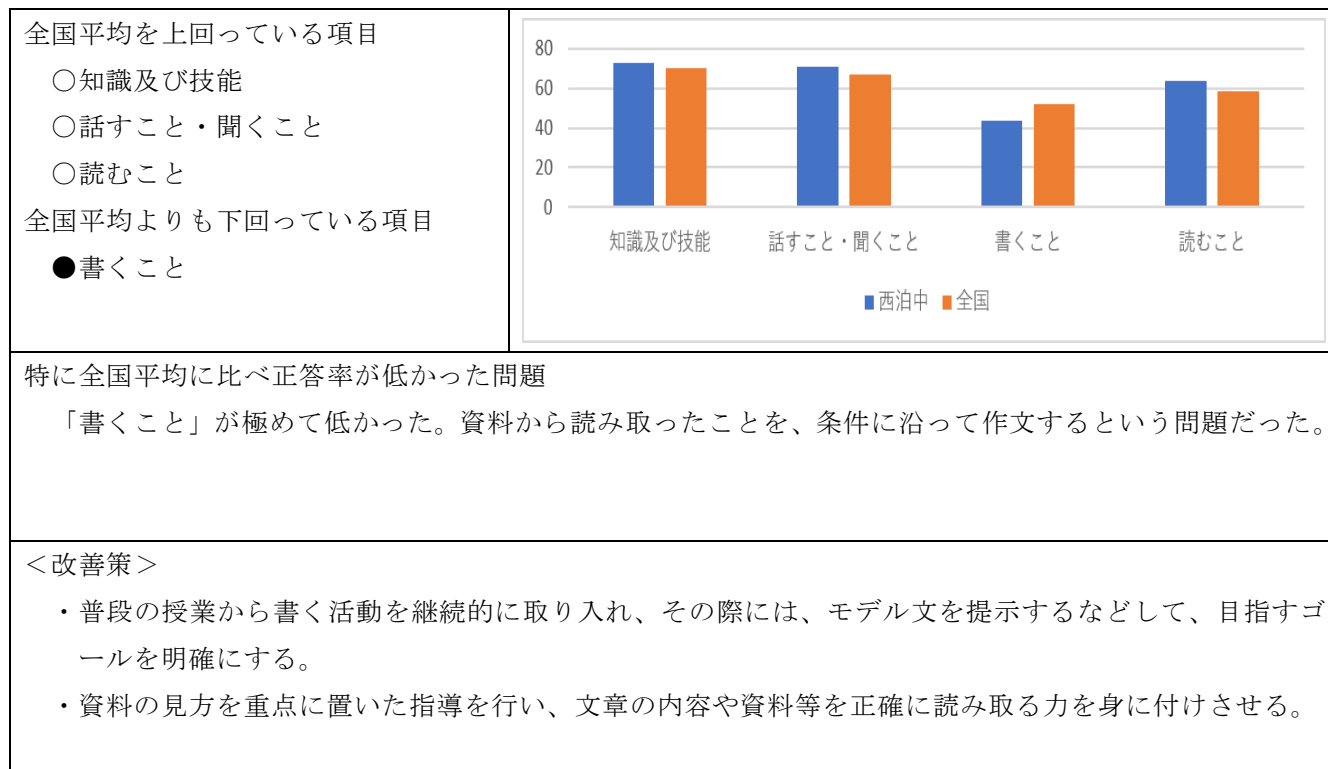
県平均を上回っている項目 ○話すこと・聞くこと ○読むこと 県平均よりも下回っている項目 ●知識及び技能 ●書くこと	<table><caption>国語の正答率比較</caption><tr><th>項目</th><th>西泊中 (%)</th><th>県 (%)</th></tr><tr><td>知識及び技能</td><td>58</td><td>60</td></tr><tr><td>話すこと・聞くこと</td><td>58</td><td>60</td></tr><tr><td>書くこと</td><td>40</td><td>42</td></tr><tr><td>読むこと</td><td>55</td><td>48</td></tr></table>	項目	西泊中 (%)	県 (%)	知識及び技能	58	60	話すこと・聞くこと	58	60	書くこと	40	42	読むこと	55	48
項目	西泊中 (%)	県 (%)														
知識及び技能	58	60														
話すこと・聞くこと	58	60														
書くこと	40	42														
読むこと	55	48														
特に県平均に比べ正答率が低かった問題 「文脈に合った漢字を正しく書くこと。(小学校５～６年生の配当漢字)」や「文法（主語・述語の関係)」、「自分の考えを根拠を明確にしてわかりやすく書くこと。」に関する問題の正答率が低かった。																
<改善策> ・漢字練習の補助教材を用いて、練習、小テストを繰り返すよう指導するとともに、漢字を覚えるための様々なアプローチを提示する。 ・文法については、キュビナを活用し繰り返し演習させる。 ・根拠を明確に示すための接続する語句の使い方に課題があるので、普段の授業の中で書く学習活動を行う際にも、接続する語句を使い、根拠をもとに自分の考えを表現するよう指導する。																

数学

県平均を上回っている項目 ○数と式 ○図形 県平均よりも下回っている項目 ●関数 ●データの活用	<table><caption>数学の正答率比較</caption><tr><th>項目</th><th>西泊中 (%)</th><th>県 (%)</th></tr><tr><td>数と式</td><td>48</td><td>45</td></tr><tr><td>図形</td><td>52</td><td>48</td></tr><tr><td>関数</td><td>42</td><td>45</td></tr><tr><td>データの活用</td><td>35</td><td>40</td></tr></table>	項目	西泊中 (%)	県 (%)	数と式	48	45	図形	52	48	関数	42	45	データの活用	35	40
項目	西泊中 (%)	県 (%)														
数と式	48	45														
図形	52	48														
関数	42	45														
データの活用	35	40														
特に県平均に比べ正答率が低かった問題 「関数の意味を理解しているかを問う問題」「相対度数の必要性和意味についての問題」において誤答が多く見られた。また「比例の式をグラフに表す問題」「垂直二等分線の性質を答える問題」において、正解答率が高かった。語句の意味を理解し解法を説明する力や、既習の基本的な内容を具体的な場面で活用する力が求められる問題において、課題が見られた。																
<改善策> ・授業の中で、また課題に取り組む中で、数学的な語句を使って、根拠をもって説明できるよう指導していく。 ・キュビナやワークを利用し、授業中や家庭学習で、多くの問題に触れる機会を作ることで、思考力の向上をめざす。																

【長崎市学力調査（１年）】

国語



数学

